

八重山教科書問題をめぐる主な経緯

2011年	6月27日	教科書用図書八重山採択地区協議会、役員会を経ずに教科書調査員を選定。慶田盛安三竹富町教育長に委嘱式日程を伝えず
	8月23日	八重山採択地区協、育鵬社版の教科書を選定
	8月25日	八重山採択地区協、選定結果を3市町教委に答申
	8月26日	石垣市、与那国町両教委は答申通り育鵬社版を採択
	8月27日	竹富町教委、東京書籍版を採択
	9月8日	八重山教育委員協会で3市町教育委員全員が東京書籍版を採択
	9月13日	中川正春文科相（当時）、8日の協議は不成立との認識を示す
	9月16日	大城浩県教育長（当時）「3市町での協議・採択を引き続き助言する」
10月27日	中川文科相「（竹富町は）教科書の無償給与対象にならない」	
12年	2月22日	竹富町教委、12年度に有志からの支援を受け東京書籍版を配布することを決定
	9月14日	県教委、13年度に3市町で使用する教科書を統一できず、八重山地区以外の冊数を報告
13年	3月1日	義家弘介文科政務官（当時）が来県、竹富町教委と県教委に協議会の採択に従うよう指導
	5月8日	文科省、竹富町教委に育鵬社版を採択するよう同省初等中等教育局長名で指導
	6月6～7日	諸見里明県教育長、3教委を訪問。主体的な再協議を促す
	9月17日	県教委、14年度に3市町で使用する教科書を統一できず、八重山地区以外の冊数を報告